

アジア政経学会 2012年度第1回評議員会 議事録

1. 日時 2012年5月19日(土) 12:30~14:00
2. 会場 大東文化大学(板橋キャンパス) 2号館
3. 評議員総数 18名
4. 出席者 3名(絵所、加藤、木宮)
5. 委任状提出 12名(天児、家近、石井、小此木、国分、末廣、高木、田中、中兼、広瀬、深川、若林)
6. 出席者合計 15名
7. 議長 金子理事長
8. 議事

(ア) 定刻12時30分に金子理事長が議長席に着き、開会を宣言。総務担当・山本理事より本日の出席者が15名(委任状による表決者を含む)にて、定足数9名以上を満たしているため、本評議員会は有効に成立している旨の報告があった。引き続き、本評議員会の議事録署名人として、絵所秀紀氏、加藤弘之氏の2名を指名し、両氏はこれを受諾した。その後、議案の審議に入った。

(イ) 2012年度東日本大会実行委員長・黒柳米司氏よりあいさつがあり、当日の開催状況について報告された。

(ウ) 前回(2011年10月15日)評議員会議事録の確認を行った。

議案1. 2011年度決算報告について

澤田理事より、2011(平成23)年度決算に関する以下の諸点について報告され、審議の結果、いずれも了承された。

(1) 2011(平成23)年度決算書類について

前回の理事会で提示した臨時決算書類の修正について報告された。

続いて、前回の理事会で承認された郵貯口座問題への対応策について確認された。

(2) 監査の報告

上記(1)の決算書類について、監査を経て承認を受けたことが報告された。

議案2. お茶の水学術事業会との契約更新について

金子理事長より、2012(平成24)年度学会事務代行業務費用見積書における費用内訳、及び各費目の増減の理由について説明された。続いて、澤田理事より、2012(平成24)年度予算書における当該見積書の反映状況について報告された。

以上の説明と報告は、いずれも審議の結果、了承された。

議案3. 2012年度予算計画について

澤田理事より、2012（平成24）年度予算書の内容、及び予算書における本年度活動計画の反映状況について報告と説明がなされ、審議の結果、了承された。

議案4. 2012年度活動計画について

金子理事長より、2012（平成24）年度予算に計上した事業について、前回の理事会において承認された活動計画、特に以下の重点について表明された。

(1)法人移行実施

- ・制度的整備及び内規整備
- ・全国大会の開催時期を春（2013年6月）に移行することの検討

(2)国際化・グローバル化への対応と調整

- ・国際シンポジウムの開催、海外学会との交流などの検討

(3)会員満足度の向上を目指す工夫

- ・情報への accessibility 向上
- ・この一環として、ホームページの改善（学会誌バックナンバーの閲覧環境の改善、英語版ホームページの充実）
- ・2013年度における学会設立60周年記念事業の検討
- ・上記事業の一環として、「現代中国研究叢書」の「現代アジア研究叢書」としての復刊、出版助成などの検討

議案5. 本年度西日本大会（広島市立大学）の準備状況について

梶谷理事より事前に提出された資料に基づき、学会ホームページに公開中の西日本大会プログラム及び各報告に関する確認が行われるとともに、開催に向けて順調に準備が整えられていることが報告され、いずれも了承された。

なお、今回の報告者と討論者へ支払う謝金について、前者には交通費実費と謝金1万5千円の合計額、後者には交通費実費と謝金の5千円の合計額とすることが了承された。

議案6. 本年度全国大会（関西学院大学）の準備状況について

平岩理事より、報告者の応募と採用状況、及び開催校における準備の進捗状況について報告された。

議案7. 全国大会時の国際シンポジウムについて

谷垣理事と清水理事より、企画テーマとその構成について、過去の参考事例を踏まえながら提議され、引き続き企画案を募りつつ検討していくことが了承され

た。

議案 8. 海外のアジア研究学会との交流について

竹中副理事長より、ドイツ・アジア学会との国際ワークショップ（7月7日開催予定）、及び国際シンポジウム（7月8日開催予定）の具体的なプログラムについて説明された。なお、その予算額は40万円であること、学会のホームページ上にて広く会員の参加を募ることが確認され、了承された。

議案 9. 公益法人移行について

高橋理事より、5月8日付にて「最初の評議員の選任に関する理事の定め」について、管轄の外務省へ必要書類を提出し、申請を行った旨が報告された。そのうえで、2013年春の移行に向け、評議員選定委員会、評議員会、理事会の選定と開催について、具体的な活動スケジュールが提議された。

以上の報告と提議は、いずれも審議の結果、了承された。

追記：閉会后、高橋理事より5月11日付にて外務省より認可通知が交付された旨が報告された。

議案 10. 学会優秀論文賞について

滝口理事より、学会賞として将来的な衣替えを視野に入れつつも、現行通り若手研究者の論文を中心に据えること、及び2001年度で刊行が止まっている「現代中国研究叢書」の復刊に向け、来年春の表彰を予定していることについて報告され、いずれも了承された。

議案 11. 『アジア研究』の編集状況について

園田理事より、編集の進捗状況として、第57巻3号については近日中に刊行予定であること、第57巻4号についても既に入稿を終えていることが報告された。

また、今後の計画として、投稿論文の採択率低下に起因する刊行の遅れを埋めるため、第58巻1号と2号は合併号にして刊行予定であることが報告された。

以上の報告は、いずれも審議の結果、了承された。

議案 12. ニュースレターの編集状況について

小嶋理事より、学会草創期の事務担当者で、学会が学会としての形をとるまで事務の面で大きな貢献をいただいた今城治子名誉会員がご逝去されたこと、及び直近で発行される号に追悼文の掲載を予定していることが報告され、了承された。

議案 13. ホームページの更新について

田村理事がシンガポール滞在中のため、金子理事長より、学会ホームページ上にイベント、研究会、シンポジウムなどの掲示を希望する場合の手順について報告された。また、学会ホームページ上に入退会申請用フォームを設け、利便性を向上させる予定であることが報告された。

以上の報告は、いずれも審議の結果、了承された。

議案 14. 定例研究会について

丸川理事より、4月7日午後1時より開催された定例研究会について報告され、次回の定例研究会が7月14日開催予定である旨が説明された。

議案 15. 入・退会者について

山本理事より、入会申請者6名、復会申請者1名、再入会申請者なし、退会者2名、逝去1名、休会者なし、会費優待申請2件について報告された。

<入会者>小山田英治、木村隆和、ライ ティ フーン ニュン、吳秀青、
杉浦政裕、林興

<復会者>許海珠

<再入会者>なし

<退会者>荒木徹也、鈴木真弥

<逝去>今城治子

<休会者>なし

その他. 中兼和津次会員と葉東峰会員の処遇について

金子理事長より、中兼和津次会員については名誉会員としたいという提案があり、また、葉東峰会員については本人の要望に鑑み、会費の発生しない一般会員に移すことが提案され、いずれも審議の結果、了承された。

次回評議員会は、10月13日（土）関西学院大学にて開催予定。

以 上

金子議長が14時、閉会を宣言して審議を終了した。

以上の決議を明確にするために、議長及び議事録署名人は次の通り署名、押印する。

平成24年5月19日

特例財団法人アジア政経学会

議長

尾子芳樹



議事録署名人

松崎秀純



議事録署名人

加藤弘之

